

それぞれに晩秋の八面山を楽しんでいました。

後日、各学校から感想や礼状をいただき、「木の名前を覚えることができませんでした」「寒かったけど、とても楽しかった」など、森林への興味や関心、学習の一助になれたものと実感しています。



森の学習



## 恒例の森林・林業体験

今年も来てくれました  
神奈川学園

〈ふれあいセンター〉

八面山のブナ林が見頃を迎えた一月八日、今年も神奈川学園高校（神奈川県横浜市）の女子高校生三五名が森林・林業を体験しました。

同校は、以前から黒尊山国有林や四万十川でフィールドワークを行っており、今回、当センターは八面山登山と間伐体験（民有林）を指導しました。生徒達は森林の働きや自然と人との共存、過疎化問題等を事前にしっかりと学習して参加しており、ニホンジカによる食害の実態、当センターの森林再生・植生回復の取り組みなどの説明に興味深く聞き入っていました。また、

樹木学習では、樹幹がツルツルとひんやりしたヒメシヤラは、樹幹に直接触れてもらったり、サンショウやセンブリは、葉を味見をさせるなど五感を使った学習や、ブナの大木に吊したブランコは、都会っ子の彼女達に生態系や自然の魅力を印象づけるに十分効果があったようです。

昼食は、四万十楽舎が準備した竹飯と猪汁に舌鼓を打ち、いよいよ間伐体験です。

人工林における間伐の重要性、安全な伐倒方法等を説明した後、生まれて初めての勇ましい地下足袋姿。へっぴり腰で一生懸命手鋸を引いても、間伐木はなかなか倒れてくれません。かわるがわる悪戦苦闘の末、二〇メートル余りのスギが豪快に



勢揃いした女子高生

倒れると、一斉に大きな歓声が上がっていました。

「ふりかえり」で、「ニホンジカによる食害の実態や森林の重要性を認識した」、「木を切ることは環境破壊というイメージを持っていたが、間伐体験を通じて、その大切さが良く理解できた」といった感想があり、当センター職員も手応えを感じました。

## 緑づくりに参加

〈香川森林管理事務所〉

前日の雨天と打って変わってさわやかな晴天のもと、小学生、親子連れ、ボランティア、地元関係者など二〇〇名が参加して、第五六回香川県植樹祭（香川県主催）が、一月一二日に高松市香南町と綾歌郡綾川町にまたがるさぬき空港公園で開催され、香川森林管理事務所も後援として所長他が参加しました。

香川県植樹祭は一九五五年から県内各地で開催されており、二〇〇九年からは「かがわ山の日」の記念行事の一環として実施されています。

開会式で浜田県知事から「植樹を通じて県民の

植樹の様子



皆さんが緑に親しみ、豊かな四季を感じることができるよう願っています」とあいさつの後、知事をはじめ大西高松市長、藤井綾川町長ほか来賓者によりソメイヨシノが植樹されました。

つづいて高松市立香南小学校と綾川町立綾上小学の六年生八人が「大好きなさぬきの山々の緑を守り育てていくことを誓います」と宣言し、

一月二七日、高松市塩江町において、「11クリーンウォークinしおのえ（不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦）」が行われました。

このクリーン作戦は、クリーン高松推進事業として、塩江町の三校区（安

11クリーンウォークinしおのえ  
不法投棄撲滅ふれあい  
クリーン作戦

〈香川森林管理事務所〉

一〇班に分かれた参加者は、公園のアドベンチャーゾーン内に、ヤマザクラ、コブシ、ベニカナメモチなど三四〇本の苗木を丁寧に植栽しました。

数年後には、高松空港横の広大な芝生の広場に、憩いと涼がとれる木陰が現れることでしょう。

原・塩江・上西）衛生組合協議会が協同実施したもので、地域住民や一般市民ボランティア、行政関係者の約八百名が参加しました。

当所は、ボランティアや高松市の関係者と一緒

に、大滝山自然休養林がある鷹山国有林から大滝山県民いこいの森キャンプ場にかけて巡回し、不法投棄の監視やごみの回収を行いました。大滝山自然休養林は、高松市の水源となつている香東川こうとうがわの源流域に位置し、水源の森百選に選定され、また、大滝大川だいせん県立自然公園にも指定されており、水源のかん養や保健休養の場として重要な地域となつていきます。

当日は、空き缶やペットボトルのほか、タイヤ、トタン等を回収しました



回収したごみ

が、昨年に比べてごみの量が減った印象を受けました。

このクリーン作戦は、六回目となりますが、日頃の住民の方の地域をきれいにしたいという思いや高松市の協力もあつて、年々ごみの量が減っており、今後も、ごみの不法投棄を防止するため、さらに地域や高松市等と連携を深め、巡視や清掃活動等の保全管理に取り組みしていきたいと考えています。

登山道に案内板を設置  
〈安芸森林管理署〉

一月二七日、安芸市別役から西又山（標高一、三六〇メートル）に至る登山道について、昨年秋、遭難者が発生したことから、安芸警察署、高知東部森林組合と相談、登山者がわかりやすい案内板を新たに制作することとし、関係者で設置に行きました。

案内板は、スギ木製で、デザインは警察署が、材料は森林組合が提供し、当署職員が手作りで制作と三者の協同作業によるものです。

当日は地元の林業家や新聞記者を含め九名が参加、紅葉にはやや早い時期でしたが秋晴れの絶好

の登山日和。登山口の別役公民館から出発し、民有林から国有林にかけて約六キロメートル、一、〇〇〇メートル近い標高差を登る本格的な山登りでした。山頂までは約三時間の行程、途中、ハチの襲撃に遭うというハプニングもありましたが、全員無事に、目的地に到着、なだらかなブナ林の迷いやすそうな地点四カ所に手際よくルート案内板を設置していきました。山頂では東に魚梁瀬の最高峰甚吉森がすぐそばに見え、北には徳島県の剣山山系が遠望できる大パノラマを堪能しました。



ルート案内板を設置中



には県内外から登山者がよく訪れます。今後とも、関係者と連携し、登山者の安全確保と国有林のPRに努めていきたいと考えています。  
※平成二三年一〇月三日の高知新聞に、関連記事が掲載されました。

### 「野根山街道散策」

〈安芸森林管理署〉

一〇月二八日、当署管内レクリエーションの森「野根山街道風景林」において、三〇年来の学校恒例行事である奈半利小学校での森林教室を、児童二七名と保護者二〇名を対象に実施しました。

野根山街道は高知県奈半利町から東洋町までを結ぶ山道で、古来より人の移動や物資の運搬、または参勤交代にも利用されてきた歴史ある街道です。

今回は、野川林道から出発し、装束峠、宿屋杉、終点の米ヶ岡までを散策する計一キロのコースです。児童と保護者を三班に分け、若手職員が中

心となって野根山街道の歴史の説明、樹木観察、野鳥観察を行いました。

道中で、不思議な形をした木の紹介や、動物が泥を浴びる沼田場の説明をすると、児童達は歓声を上げていました。また、野鳥観察では、バードコールの使い方を教え、手作りしたバードコールを手渡すと、みんな夢中になって音を鳴らしていました。バードコールに野鳥が応える場面もあり、野鳥を身近に感じることができたと感じます。

また、最後の数キロ続くく下りでは、転んだり、「疲れてもう無理」などと弱音

を吐いたりする児童もいましたが、ゴールが近くになると疲れも忘れ、元気に駆け下りていきました。

今回の森林教室を通じて、児童達は普段ふれることのない樹木や野生動物を観察することで、より自然を身近に感じることができたようでした。また長くてきつい道の中、友達同士で励まし合ったり、親子でふれあったりするなど、良い思い出作りの機会になったのではと思います。



野根山街道散策中

# 治山・林道工事コンクール受賞者局長表彰式及び 販売事業協力者局長感謝状授与式

〈総務課〉



四国森林管理局長賞受賞者等の皆様

平成二二年度に実施された治山・林道工事コンクール受賞者及び国有林野事業への協力者に対する感謝状授受者の表彰式を一月二八日に高知城ホールで行い、次の方々が受賞等されました。(敬称略)

◎四国森林管理局局長賞

〔治山部門〕

○(株)山全

代表取締役

牛尾 正治

○明治建設(有)

代表取締役

山中 巨司

○高大建設(株)

代表取締役社長

山崎 一志

○湯浅建設

代表取締役

湯浅 雅文

○多田工業(株)

代表取締役

多田 裕

〔林道部門〕

○一若建設(株)

代表取締役

中畑 健右

○(株)晃立

代表取締役

島崎 勝昭

○(株)生田組

代表取締役

生田 嗣夫

○沢良木建設(株)

代表取締役

沢良木基希

◎四国森林管理局局長感謝状

〔立木の部〕

○福留林業(有)

代表取締役

福留 治實

〔素材の部〕

○宇和国産材加工協同組合

代表理事

井上誠一郎

○院庄林業(株)

代表取締役

豆原 直行